



日刊但し日曜祭日無
日休刊一ヶ月廿五錢
郵税十五錢一歩二錢
廣告料一行四十錢
場所指定一十錢
発行部編輯印刷人
牛谷政喜
石川湯本町大町二三
福馬新報社
新開

常識講座
コミュニストは共產主義をコンミニズムと云ふ其の主義者であるコンミニクと云へば聲明書であるとか告示公報の類または公式の會議で其の討議の經過を公する形式の謂た

他黨への轉身は 投票の詐欺取得

誘惑に乗る灰色議員の戒め 選挙民を愚弄する非違

各派間に鏗りを削つた衆議院選挙戦は閉じ終つて愈々國民審判の日となつた其の結果は政府の何れが勝利するか十九名の候補者が十一の椅子を奪ふ本縣の如きも政七民二の選挙前の分野の動きを殊に興味されつて兩派の全國的戦績が天下分け目の陣となるのであるが兩黨互に二百名を前後する豫想の如く少数の差までには選出四半の民政派が今回の選挙によつて勢力を挽回し得れば政局は今遽かに動くものと

清く一票の精進者

だが昨秋縣議選より不活潑 豫想の四千が崩れそ

一票報國の忠良なる有識者に賦ふ平町の投票會場は午前五時場内に祀る神壇に山部神職の祝詞を奉じ清治明長外投票所係吏員並に立會人等々列席者の玉串奉奠を終つて開場時刻の午前七時前正を高調する

深山田の災害復舊工

鎌田橋の架換え工事 衆議院の解散に崇られた 今後の成ゆき懸念

石城郡上野村の深山田部落は同地にある上野川の支流のため強雨毎に氾濫被害を受け昨年の秋の暴風雨に於て目も當てられぬ被害を受けたが小郡落のため自力復舊覺束なく加ふるに縣支辨川になつてないの天の無情を訴へては對し平土木監督所では深

御齋所街道に残る 難所は後一ヶ所

一萬圓の直管工事竣功

縣道御齋所街道に於ける最難所石住村と入野野村の境界地區才鉢の岩石切り崩げは工費一萬圓を投じて直管工事であつたが相當の難工事の名の怪儀を出ださず此の程竣功を告げ縣土木課野野技手の竣

本年最初の大量 千七百俵の出荷

石城郡聯明廿一日の俵米共販 前回高に誘はれてか 日俵米共同販賣は前回の高

石城郡販賣に於ける明二十一日俵米共販は前回の高に誘はれてか本年に邁入つて最高の出荷左記一千六百七

十三俵を算してゐるが相場の豫想は各商人の手持簿關係で入札者は相當多數に上るもの如きも生産者側も大して先ま行き高値を見込まねば情勢から手放し時と考へられて

架換えられる 登地橋

石川湯本線の一美観

石城郡石住村の才鉢地内石川郡との境界に架かる登地橋は腐朽甚だしく過去四年間に互つて架け換申請を繰返されて

今日好間校で 肅選行列

石城郡好間小學校では今日二十日の衆議院選挙投票日前八時から生徒隊を以て選挙肅選の大旗を先導に各生徒手に手に小旗をかざして村内を一周し村民一同に肅選の氣を高調させた

劍齋室直與略歴

丙子新正九十歳の自作詩を 偶然の辭世として

- 同 六年丁巳 十月三十一日、大日本武徳會福島支部より、多年斯道に盡せるを以て之が表彰状を受く。(七十一歳)
- 同 七年戊午 十一月二十一日、長男直病死し、茲に嗣子断つ。(七十二歳)
- 同 八年己未 (七十三歳)
- 同 九年庚申 (七十四歳)
- 同 一〇年辛酉 (七十五歳)
- 同 一一年壬戌 (七十六歳)
- 同 一二年癸亥 五月、京都大日本武徳會に出試し、多年武道に功勞せるを以て表彰状を受く本年作詩あり、即ち次の如し。

雪折れ杉の 入札賣り

平町役場にて

平町の舊城跡にある元小學校の御大典記念植林の杉立木が過般の大雪で倒折せる爲め町役場に於て左記により競入札の賣卸をなす

杉樹直径三寸乃至五寸(四十五本) 開札時は来る二十

平中央青果卸市場(調) 高値 安値

青物 (買) 高値 安値
大葱(百把) 1.50 1.30
小把葱(百把) 1.50 1.30
油菜(百把) 1.50 1.30
人参(買) 1.50 1.30
牛蒡(買) 1.50 1.30
ほうれん草(百把) 1.50 1.30
甲芋(買) 1.50 1.30
馬鈴薯(買) 1.50 1.30
馬鈴薯(買) 1.50 1.30
澤庵(買) 1.50 1.30
果物 前日と同値

寺屋敷で 十丹賭博

残りず検察さる
小名濱町の西町最高院境内山林内で昨十九日午後二時半頃、左記五名が車座となつて十丹賭博を開張してゐることを

平署員に發覺一人獲らざる取押へられたが田邊は常習者で最近檢察釋放されたばかりである

- 同 一三年甲子 (七十七歳)
- 同 一四年乙丑 (七十八歳)
- 同 一五年丙寅 (七十九歳)
- 同 一六年丁卯 (八十歳)
- 同 一七年戊辰 十月、平藩主子爵安藤信昭より高給銀一組(二個)を贈與、十一月、京都に於ける御大典奉祝演武會に出席して、其の久遠なる御大典奉祝演武會より御勲章御盃を賜はる(八十一歳)
- 同 一八年己巳 四月十日、大日本武徳會分會より創立以來斯道に功勞せるを以て、其の表彰状を受く。十二月十三日、發交傳記刊行會設立し、是の日之が諸議に參席す。(八十三歳)

